



株式会社 Wakka Agri

長野県

中山間地において、海外ニーズを見据えた
高機能米の生産に取り組む輸出専門農業法人

輸出品目

コメ（カミアカリ）

輸出先

米国（ハワイ）・香港等

平成29年（2017年）、長野県伊那市の中山間地において高機能玄米「カミアカリ」の自然栽培（無肥料・無農薬）を開始。輸出専門農業法人として、市場ニーズに適合したマーケットインを意識し、主に健康意識の高い欧米市場に輸出。中山間地農業独自の価値創出・社会的課題の解決にも取り組んでいる。



高機能米「カミアカリ」



圃場（長野県伊那市）



消費者の様子（ハワイ）

輸出米専門農業法人
Wakka Agriの取組について



株式会社 Wakka Agri

商品の特徴



1998年に静岡県で偶然発見された突然変異種「カミアカリ」。
通常のコシヒカリに比べ胚芽が約3倍大きい特徴をもつ。

『カミアカリ』

- ・ 2008年品種登録
- ・ コシヒカリの突然変異種
- ・ 栄養価が豊富な胚芽部分が約3倍の**巨大胚芽米**
- ・ 無肥料・無農薬の**自然栽培**により栽培（残留農薬リスク0）
- ・ **玄米食専用**の商品として販売
- ・ 健康意識の高い欧米マーケットで**高機能米**として人気

輸出の取組・販路



自然栽培玄米



自然栽培玄米

生産拠点



中山間地域の限界集落



● 農業法人(株)Wakka Agri
長野県伊那市長谷



① 香港 (2009～)



② シンガポール (2011～)



③ 台北 (2013～)



④ ハワイ (2016～)



⑤ ニューヨーク (2019～)



ハワイ販売店と消費者の様子
(Wakka USA)

成功・工夫のポイント

☑プロダクトアウトではなくマーケットイン

- 海外市場ニーズ（食味・嗜好・機能）に適合
- 安心・安全な自然栽培による生産

☑中山間地農業独自の価値創出

- 最上流の灌漑水の利用
- 地力が高い耕作放棄地の利用
- 病害虫の発生率が低い高冷地での圃場確保
- 優れた景観を活かした産地の情報発信

☑社会的課題の解決

- 日本農業の課題（高齢化・担い手不足、不耕作・放棄田、里山環境保全）を解決
- 優れた景観・農業体験を活かした海外からのインバウンド創出
- 新しい中山間地農業モデルの構築。

